

発行者：公益社団法人愛媛県鍼灸マッサージ師会  
会長 佐藤 佳孝

事務所：〒791-8032 松山市南斎院町951-11  
TEL・FAX 089 (974) 1219  
E-mail：ehimekenshikai@e-ahaki.com

編集者：広報部長 松岡 嵐

愛媛県師会サイトはこちら→



## 2月～3月の予定一覧

- 2月毎週(水) 大街道献血ルーム 献血者へマッサージ施術(中止)
- 2月7日(日) コムズフェスティバル (無観客・TV放送)
- 2月14日(日) 愛媛マラソンケアボランティア(1年延期)
- 3月毎週(水) 大街道献血ルーム 献血者へマッサージ施術(未定)

※新型コロナウイルス影響の為、予定の変更・延期・中止の可能性があります。

## 事業報告会

法制部長 浦川武之

大街道日赤献血ルーム  
マッサージ施術

佐藤会長からプロジェクターを使って各事業の内容を説明してもらった後に、各事業にかかわった先生方の意見を発表してもらいそれに対して参加者がこれからの活動への取り組みに関して話し合いました。

これからはイベントに関して本会の取り組みや東洋医学の普及に関するパンフレットを作成してその時々配布していくことを確認しました。その時に主催者側と前もって話し合いで配布できる環境を整えることも注視していくことを佐藤会長から助言を受けて各事業30分の持ち時間で内容のある事業報告となりました。

これからも会員の皆さんの多くのご参加を促すためにも出来るだけ活動の内容をご報告していきますのでご意見やご要望をよろしくお願ひします。



大街道スマイル保育園  
親子スキンタッチ



石手寺お灸接待



西日本豪雨災害支援活動



## マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の促進について

マイナンバーカードの健康保険証利用は、法人の健康保険に係る事務のコスト縮減につながる事が期待されます。また、職員にとっても、各種証明書のコンビニでの取得やeTaxによる確定申告等での利用、さらには今後、運転免許証との一体化も検討されている等、マイナンバーカードは、大きなメリットがあるカードです。

今般、菅内閣総理大臣の所信表明演説において、令和4年度末にほぼ全国民に行き渡ることを目指していく旨の御発言があったところであり、政府として、普及拡大に向け、改めて、取組を進めているところです。

つきましては、下記の要領で、貴法人の職員等に対し、マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の促進の呼びかけを行っていただきますよう、お願い申し上げます。

呼びかけに係る資料を内閣府のホームページに掲載しておりますので、御活用下さい  
(掲載先URL) : <https://www.koeki-info.go.jp/administration/oshirase.html>

## 手三里 (てさんり)

### 病気に負けない免疫とツボのお話 その4

風邪をひくと、“発熱”し“食欲”が落ちます。その理由は、発熱によって体をあたため白血球の働きを活発にするため。食欲の低下は、食事における血の汚れを防ぎ、白血球が病原菌をやっつけるのに専念できるようにするためです。

<参考文献>元氣読本「ウイルス・細菌と戦う力“免疫力”を高める心得と健康術」オアシス株式会社 5月/1号 3頁。

手三里の場所：肘を曲げたときにできる、

腕のしわから下2寸。

ツボの効能：肩こり。五十肩。肘の痛みなど。

## 会長あいさつ

会長 佐藤佳孝

新型コロナウイルスの感染が収まらない中で新年を迎えました。コロナ感染者が日本で初めて確認されたのが令和2年1月15日でしたので1年が過ぎてしまいました。こんなに長期化するとは想像できませんでしたが、第3波により東京では自宅療養約8,900人、または調整中の方が約6,800人いると報告されています(1/21)。自宅で悪化し死亡した事例もあり、既に医療崩壊が始まっていると言えます。

1月8日に1都3県に緊急事態措置が講じられ、愛媛県も感染者が1日20人前後で高止まりしており、1月26日までの「特別警戒期間」が2月7日まで延長となりました。各団体への周知文書もこの一年で数回発出され、皆さんへ出来るだけお伝えしています。特にお読みいただきたいのは、新型コロナウイルス感染症対策本部が決定した「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」令和3年1月7日変更の文章です。令和2年3月28日作成の内容がこの一年で分かったことや取り組んできたことが36ページに亘って報告されています。

2月中旬から最前線にいる医療従事者からワクチン接種が始まりますが、あはき業に優先順位はありません。しかし、私達“あはき師”は対策本部発出の内容を正しく理解し、侮ることなく感染予防に努め、医療崩壊に陥らないサポートをしつつ、“あはき業”を施すことが求められていると理解します。もし年末に終息を迎えたときに“あはき”施術所からクラスターや感染者が出なかったと言って貰える業界になっていることを望みます。